

様式第3号（第4条関係）

会 議 録

1 附属機関等の会議の名称

第2回丹波篠山市交通安全対策会議

2 開催日時

令和5年6月15日（木曜日）10:00～11:55まで

3 開催場所

丹波篠山市役所 2-301、302会議室

4 会議に出席した者の氏名

（1）委員（敬称略、順不同）

会長 酒井 隆明 足立 正道 松浦 元治 篠田 敦志 丹後 政俊  
前中 繁男 小林 克巳 大上 敬之 山本 毅 頼金 隆之  
村上 佳子 田中 さゆき

（2）執行機関 事務局 市民生活部長 中筋 有香

市民安全課 安井 聡博 糸川 幸文 小西 佑季

5 傍聴人の数

1人

6 議題及び会議の公開・非公開の別

すべて公開

7 非公開の理由

—

8 会議資料の名称

丹波篠山市交通安全対策会議 次第

丹波篠山市交通安全対策会議委員名簿

丹波篠山市交通安全計画の策定概要【資料1】

丹波篠山市交通安全計画（案）【資料2】

丹波篠山市交通安全計画（案）前回提示資料からの修正箇所【資料3】

施策推進一覧表【資料4】

丹波篠山市通学路安全対策プログラム【資料5】

丹波篠山市交通安全対策会議規則

広報7月号原稿、啓発チラシなど

9 審議の概要

（1）開会 定刻通り

- (2) あいさつ 会長（市長）
- (3) 委嘱状の交付
- (4) 自己紹介
- (5) 「丹波篠山市交通安全計画の策定経緯」について
  - 事務局より説明 —
- (6) 交通事故の現状・事故発生傾向など
  - 篠山警察署 交通課長より説明 —

令和5年5月末時点で、人身事故41件、負傷者数50名、重傷者数9名、物件事故数507件であった。人身事故件数のうち20件が高齢者、負傷者数のうち16名が高齢者であった。令和4年5月末時点は、人身事故39件、負傷者数52名、重傷者数9名、物件事故数420件であった。

交通事故死者数は、令和3年10月23日以来、今日で600日間ゼロとなっている。事故の傾向としては国道、県道での事故が多く、国道176号、372号で14件、県道で14件であった。自転車事故は都市部では多いが、篠山警察署管内では7件となっている。

#### (7) 協議事項

丹波篠山市交通安全計画（案）について

##### ① パブリックコメントの結果

令和5年3月20日から4月19日まで、広報、ホームページ等でパブリックコメントを募集したが意見はなかった。

##### ② 計画（案）の内容

— 事務局より資料に基づき説明 —

（質疑）

委員L

P16のイの三番目に利用しやすい公共交通体系への見直しと記載があるが、村雲地区の有償運送バスは多紀支所に行かないため、免許返納された方も利用されていない。もう少し運行範囲を広げることができないのか。

会長

今年度、路線バス、コミバス、有償運送を見直し、デマンドタクシーのような形を考えていく予定。

委員I

3点確認しておきたいことがある。

一つは、バザールタウンを出たところに前はカーブミラーがあったのに、なくなったことで見にくくなっている。

二つ目に、外国人がよく電動自転車に乗っているが、電動アシスト自転車なのか、電動バイクなのかよく分からない。

三つ目は、積雪の時に、道路の溝とアスファルトが斜めになり、よく自転車が転倒していることがあるので、道路の舗装を改善してほしい。

委員H

カーブミラーは自治会から要望があれば設置している。バザールタウンの出入口については確認する。

委員F

三点目の雪の時の対応については、今後舗装の修繕に合わせて検討していく。

委員B

点検して側溝の修理を行っていく。

委員C

二点目については、ペダルをこがない自転車が電動機付き自転車となっているが、販売店への指導を進めていく。

委員D

P. 15 の通学路等における交通安全の確保の関係機関には、小学校長会は入っているが、中学校長会が入っていない。

委員G

通学路安全対策プロジェクト会議の構成員が小学校長会だけになっているため、中学校長会は入れていない。

会長

プログラムにも中学校を入れても良いのではないか。保護者も入れるべきでは。

委員H

プロジェクト会議にこだわらず中学校長会、保護者を入れるように調整する。

委員L

P. 16 のア③の二番目に歩道の段差について、シニアカーを利用の高齢者が歩道を走っているが、ささやま医療センターから市民センターの間の歩道など、斜めになっている場所があり危ないと感じる。

委員F

その場所は今年度から順次、法面の修正をしていく。歩道は施設等の出入りの高さに合わせないといけないため、どうしても傾斜がでてしまうことがあるが、可能な限り対応する。

委員B

シニアカーは車いすと同等という認識はしているので、考慮して工事していく。

委員I

P. 17 のウに交通安全に寄与する道路交通環境のことがあるが、歩道があるのに途中で途切れていたり、車用の信号があっても歩行者用信号がないところがある。外国人の方も大勢で自転車で通っているので危険と感じる。

会長

歩道は出来るところから順次整備していつているが、道路の両側に家が立ち並んでいるところはすぐには出来ず難しいところがある。

委員B

江戸時代からの道を元に今の道路を整備しているので難しいところがある。住民の方と話し合って手がけていければと思っている。外国人の方の交通マナーは県でも問題意識をもっている。

委員C

二階町の交差点の歩行者用信号は、以前から取り組んでいるが立てる場所がないという問題がある。予算に限りがあることもあり、どこか新設するのであれば、どこかを撤去するように言われている。

会長

地域振興課で外国人との共生を進めており、国際理解センターに通訳や交流をしていただいているが、外国人の悩みや苦情が出てきているので雇用している企業にも働きかけて、解決していきたい。

委員H

二階町の件は、地域からの要望で、祭りの山車を出すため信号機の高さが高くなっている。マグネットシールを貼るといった対策を考えている。

委員K

通学路に看板を設置したいという要望を自治会長に相談したら設置できたことがあったが、なかなか大変だった記憶がある。車を避ける通学路でも高校生が自転車で通る横で小学生が歩いているのも安全でないように感じる。歩道の整備が不十分なことは感じており、市民と

してはどこが国道、県道、市道なのかは分からないので、市内の道路交通環境が良くなれば  
いいと思っている。

今回、聞きたいことは3点ある。

一つ目は、個人で反射板をもらおうとしたらどこでもらえるのか。

二つ目に、とび出し坊やはどこに行けば修理してもらえるのか。

最後にドクターヘリが加古川から来ていると書いてあるが遠くはないのか。

委員H

反射板は交通安全協会ですすきを販売している。100均やホームセンターでも販売があ  
る。

委員G

とび出し坊やはPTAで購入し、修繕もしてもらっている。

委員E

ドクターヘリは加古川からでも15分で来ることができる。

会長

ご意見いただいた点を含め、本内容をもって計画策定としてよいか。

各委員

異議なし

#### (8) 交通安全施策の推進について

①令和5年度の主要施策

②広報等での啓発

— 事務局より説明 —

③通学路安全対策プログラム

— 学事課より説明 —

#### (9) 閉会